

大学院同窓会より、平成 28 年熊本地震被災への学校教育等教育支援にかかる寄附を行いました。

平成 28 年 9 月 20 日（火）午前 10 時、熊本県庁教育長室において、8 月の同窓会総会で承認された熊本地震「学校教育等教育支援にかかる寄附金」20 万円を県教育委員会教育理事金子徳政氏に直接お渡しすることができました。

同窓会からは、川村庸子会長、草場聡宏九州副ブロック長、岩根浩熊本支部代表、中尾豊喜研究部長が訪問いたしました。会長よりこのたびの熊本地震の甚大な被害に対するお見舞いの言葉があり、約 80 名の熊本支部同窓生がそれぞれの教育現場で復興に尽力されていることに対し些少ではあるがお役立ていただきたい旨、同窓会からの願いをお伝えいたしました。

金子教育理事さんからは兵庫県の支援団体が地震発生後に最も早く駆けつけてくれたことへの感謝や、これまでの地震被災でも例を見ない余震回数や被災人口、被災建造物棟数や復興の現状など、今日に至るまでの貴重なお話を頂戴することができました。

非常に厳しい被災状況をお聞きし、先の東日本大震災においても子どもたちや親の心のケアの指導員養成が切実な課題となり、宮城県では被災の翌年から養護教諭を兵庫教育大学大学院に派遣再開した例を紹介し、熊本県での積極的活用を要請してまいりました。



寄附金の贈呈

時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。  
この度の平成二十八年熊本地震に際し、会長の川村庸子様をはじめ、兵庫教育大学大学院同窓会の代表の皆様におかれましては、大変お忙しい中、遠路お越し下さり、熊本県の子供たちのため、教育環境の復旧・復興のために、ふるさと納税制度（募教育応援金）による多大なる寄付をお届けいただき、ありがとうございます。  
心からお礼申し上げます。  
地震発生から五カ月以上が経過しましたが、未だに子供たち、その御家族をはじめ、多くの被災者の方々が様々な面において不安な日々を過ごされている中で、この度の、貴会の皆様のお心遣いは非常にありがたく、子供たちの夢の架け橋となる教育にしっかりと役立てられるよう努めて参ります。  
一日も早く安全・安心な環境で、子供たちが再び笑顔で学び、スポーツに励むことができよう、関係者一同全力で取り組んで参ります。  
兵庫教育大学大学院同窓会の皆様は、ますますの御健康を祈念しまして、お礼の言葉といたします。

平成二十八年九月二十七日  
熊本県教育委員会教育長 宮尾 千加子

お礼状